

# ノンバイナリーの選択としての三人称単数形の they について

Singular *They* as a Choice to Express Non-binary

小塚 暁絵 小田 恭子 川守田 恭枝  
KOZUKA, Akie ODA, Kyoko KAWAMORITA, Yasue

## 1. はじめに

英語教育は、言語やコミュニケーションスキルを伝授・訓練するだけでなく、言語学習を通して、学習者たちがグローバル人材として活躍できるための態度を育成する機会を提供することが重要である。そのため、筆者らは、英語教員は世界の中で起こる変化に敏感に対応し、変革の意図を正確に理解して、世界の英語使用状況に対応していく必要があると考える。そして、時代に合わせ、グローバル社会の舞台上で受け入れられるセンスを身につけた、洗練された英語を使える日本人を育成することを目標としている。

本稿では、近年変化を見せている1) ジェンダー表明としての三人称単数形の they (Singular *they*) を紹介し、2) その用法を説明し、3) 教育の視点から見た今後の可能性について一考を述べる。

## 2. ノンバイナリーを表す三人称単数形の They

### 2. 1 使用量の増加

1889年創設の American Dialect Society (ADS: 米国家方言学会) は、2010年から2019年までの10年間の Word of the Decade に Singular *they* (三人称単数の they) を選んだ。つまり、直近の10年に新しい用法として広く使用されるようになった重要な表現で、人々の関心を表す語として、二分制に当てはまらない性を表す (gender-neutral)、特にノンバイナリー\*<sup>1</sup>の人々を表す語として使用される they の存在が受け入れられたと言える。この they は、一般的に Singular *they* と呼ばれており、2010年代半ばに注目を浴び、同学会によって、2015年の Word of the Year (その年の語) に選ばれている。単数形の they の用法は、一般的な用法の中で既に受け入れられて来た\*<sup>2</sup>が、この年、

ジェンダーが「ノンバイナリー (non-binary)」とされる可能性のある人々を表す人称代名詞、すなわち identifier と呼ばれる、他と区別して認識するものとしての用法が新用法として選ばれた。The Word of the Year でノミネートされた際の表記は下記の末尾抜粋の通りである。2015年、「ジェンダー・アイデンティティの新しい表現は多くの議論を生み、they は議論の重要な要素であり、ジェンダーに中立的な代名詞が多く提案されて来た中で、既に言語の中の一部として存在している、という点で有利である」と ADS 新語委員会の議長 Ben Zimmer は述べた (American Dialect Society, 2016)。ノンバイナリーの人々を表す語としての三人称単数代名詞の they の用法についての詳細は2. 3に後述する。

1991年から The Word of the Year を発表している ADS は、毎年以下の基準でその年の言葉を選出している。1) 広く使用され、2) 新しい語であるか、新たに人気になった語、3) その年の出来事にとって重要、及び/又は、4) 公の言説や国民の関心を表す、単一の単語・句・キャッチフレーズ・ハッシュタグ・その他の種類の短い書き言葉または口頭によるコミュニケーション (American Dialect Society, 2016)。三人称単数形の they は、以下のように候補として指名され、2015年を代表する語として選ばれた。

They: gender-neutral singular pronoun for a known person, particularly as a nonbinary identifier (“they,” “them,” “themselves”) (American Dialect Society, words of the year section 2016)

彼ら: 特にノンバイナリーを表す “they”

“them” “themselves”などの、既知の人のための性別がニュートラルな単数形代名詞（筆者による訳。以後英文和訳は筆者によるものとする。）

2015年を代表する表現としてノンバイナリーの三人称単数形の *they* が選ばれた背景として、象徴的な出来事を以下に取り上げる。2015年11月に *The New York Times* は対象者/主語 (subject) が性別を割り当てられたくない場合に *Mr.* や *Ms.* に代わる敬称として *Mx.*<sup>\*3</sup> を使用した。これは、ジェンダーのニュートラルリティ<sup>\*4</sup> (neutrality) を意識した言語の使用が主要新聞によって表現されたと言える。これに続いて、*The Washington Post* は男性でも女性でもないとして自認する人々に対応するためにスタイルブック<sup>\*5</sup> にニュートラルな使用の三人称単数形の *they* を追加した。

次に三人称単数の *they* が脚光を浴びたのは2019年である。米国で最も伝統のある辞書出版社 Merriam-Webster は、2019年の Word of the Year に *they* を選んだ。同社は2019年の12ヶ月間に Merriam-Webster.com で最も多く検索された語で、かつ前年よりも大幅に検索数が増加している語として *they* を選んだ。全くの新語ではなく、伝統的に長年使用されてきた代名詞の *they* が、2019年には前年比で3倍以上も検索されていた。この事実は、*they* の使用方法の変化の結果としての現れであり、特殊なケースだと言える (Merriam-Webster, n.d.)。この年、Singular *they* に関する検索を増加させた出来事の一つとしては、9月に世界的に人気の英国の有名シンガーソングライター Sam Smith が SNS<sup>\*6</sup> 上に “My pronouns are they/them.” と自認のジェンダーについて言及したことが挙げられる。彼に続き、“Preferred Gender Pronouns”<sup>\*7</sup> (本人が使用を希望するジェンダーを表す代名詞、PGPs) を表明している著名人としては、米国副大統領 Kamala Harris (She/Her)、アップル CEO の Tim Cook (He/Him)、2021年東京で開催されたオリンピックに米国代表として参加した女子サッカー選手の Megan Rapinoe (She/Her) や女子バスケットボール選手 Sue Bird (She/Her) らがいる。多くのアーティスト・政治家などの有名人が PGPs の表示を始めたことで、彼らのファンや彼らの行動に賛同する一般個人が追随する形となった。さらに、大学 (Yale University など) などの教育機関も Preferred Gender Pronouns ムーブメントもしくは My pronouns ムーブメントとも呼ぶべき活動に賛同している。このような SNS 上の動きに加えて、2020年代には、米国の一部地域では、小中高校で My pronouns、(私の代名詞

は…) と書かれたステッカーやバッジを配布し、生徒たちが She/Her や They/Them を書き込んで、本人が使用を希望する代名詞を表明する動きが盛んになった。代名詞の表明はすなわち、自認のジェンダーについての表明を意味する。

## 2. 2 使用の拡大

第二言語もしくは外国語として英語を使用・教授する立場からすると、このノンバイナリーのジェンダーを表す三人称単数形の *they* の使用は、一過性のものなのか、今後世界的に浸透し、新しい文法ルールとして組み込まれていくものなのか、注視する必要がある。また、この *they* の使用がごく限られたコミュニティの中だけであるのか、より広範囲に拡散・浸透しているのかを判断する必要がある。本稿では、ノンバイナリーの三人称単数形 *they* の使用が一過性で終わるものではなく、今後、広範囲に拡散していくと判断できる基準の一つとして辞書への追記を紹介する。また、一定のコミュニティ内にとどまらず、世界規模で拡散していくと判断する基準の一つとして SNS を取り上げる。

### 2. 2. 1 辞書

一つ目は、辞書である。英国や米国で出版され、世界中で使用されている複数の辞書にノンバイナリーのジェンダーを表す単数形の *they* が加わった。例えば、後述する英米の出版社から出版されている3点の主要辞書には、2020年までに新たにノンバイナリーの三人称単数形の *they* の用法が追加されている。辞書に三人称単数形の *they* の新しい用法が加わったことの意義は大きい。これにより、教員が教える際にも学習者が自学する際にも英語教育・英語学習の中で辞書記載事項が参照されることになる。ゆえに、今後一層の定着が予想される。ただし、ここでは英英辞書について述べており、英和・和英辞書に言及するものではない。英英辞書における Singular *they* 用法表記については2. 3. にて詳しく述べる。

### 2. 2. 2 SNS による拡散

二つ目は、SNS である。現代社会において、SNS による情報の拡散を考慮しないわけにはいかない。前述の通り、ノンバイナリーを表す三人称単数形の *they* の使用が広がったきっかけの一つは SNS 上での PGPs の表明である。今後、SNS での PGPs の露出は拡散を続けることが予想される。英国や米国では、著名人が SNS のプロフィールで自らの使用を希望する Pronouns を表明するケースが増えている。例えば、

前述の英国の人気歌手 Sam Smith は、以下の様に自身がノンバイナリー（男性にも女性にも属さない性）であることを表明し、SNSのプロフィールではPGPsを They/Them と表示している（図1参照。赤い矢印と四角の囲みは筆者によりわかり易くするために追記）。



図1

加えて、2021年1月にアメリカ合衆国副大統領に就任した Kamala Harris も、自身のSNSのプロフィールにPGPsを記している一人である。（図2参照）Harris は、自身のPGPsを she/her と明記し、自認する性を女性であると表示している。つまり、生まれ持った性と心の性が一致しないトランスジェンダーの人々や伝統的な男性または女性の二分制で表したくない Non-binary（ノンバイナリー）の人々、どちらの性であるか不確定な Questioning（クエスチョニング）の人々だけに限らない。生まれ持った性と心の性が一致しており、その性に従って生きることを選択している Cisgender/Cis（シスジェンダー）の人々にもPGPsの選択表示は広がりを見せているのである。



図2

PGPsの表示は、SNS上では、三人称単数の主格と目的格が使われるのが普通である（図1および図2

参照）。これ以外には“My pronouns,” や “My pronouns are” に続いて主格・所有格あるいは主格・目的格の2種もしくは主格・所有格・目的格の3種が表示されている場合が多い。再帰代名詞が表記される場合は、2021年6月までのところ、themselvesではなくthemselvesとなっていることが多い。人称代名詞はおおよそ、コンマまたはスラッシュで区切られている。表示例は、以下の通りである。

- My pronouns, he, his
- My pronouns, he, him
- My pronouns, he, his, him
- My pronouns, she/her
- My pronouns, she/her/her
- My pronouns are they, their
- My pronouns are they, them
- My pronouns are they, their, them, themselves<sup>\*8</sup>

以下の2. 3では、英語の三人称単数代名詞について、より詳細に説明する。

## 2. 3 英語三人称単数代名詞

### 2. 3. 1 三人称単数の一般的な用法

英語の人称代名詞（Personal Pronouns）は、人称・格・数によって変化する。人称は、話し手または話し手を含む人の集団を指す一人称、相手または相手を含み話し手を含まない人の集団を指す二人称、話し手と相手以外の第三者を指す三人称がある。現代において一般的に文法事項として提示されている英語の三人称代名詞の変化の規則は表1に示した通りである。ここでは再帰代名詞は省略する。

表1

性	数格	単数		
		主格	所有格	目的格
男性		he	his	him
女性		she	her	her
中性		it	its	it
性	数格	複数		
		主格	所有格	目的格
男性		they	their	them
女性				
中性				

(Watanuki et al., 2000)

2. 3. 2 三人称単数 They の新たな用法

2010年代半ば以降に三人称単数形の they の使用が急速に増加した。これは、he/his/him や she/her/her の伝統的な二分制でジェンダーを表したくない人々が、既存の言語 they を新しい用法、新しい選択肢として使用する、どちらの性でもない三人称単数である。どちらの性でもない三人称単数代名詞として、1970年代以降 ze/zir/zir/ や ey/em/eir など、多くの新語が提案されてきたが、これまでのところ一般的な定着は見られていない (Baron, 2010)。これに対して、既に言語の一部として長年使われてきた they が複数形に加えてニュートラル\*<sup>9</sup>なジェンダーを表す三人称単数として追加されている点で、これまでとは異なっており、更に使用が一般的に拡大・定着する可能性が高いことが予想できる。

前述のように、2020年までに主要な英英辞書にはノンバイナリーを表す Singular *they* (単数形の they) の基準が追加されている。それでは、ノンバイナリーを表す三人称単数形の they について、具体的にどのような説明がされ、どのように使用されているのだろうか。以下、英英辞書の新たな記載を表2に示した。

表2

英英辞書名	
Cambridge Dictionary (Online)	<b>Singular they</b> used to refer to a person whose gender (= sex) is not known or does not need to be mentioned, to avoid having to say “he or she”  例文 "There's someone on the phone for you." "What do they want?" Everyone should do what they think is best.
	<b>Non-binary they</b> used to refer to a single person who describes their gender (= sex) as non-binary (= not simply male or female)  例文 At that time Smith said that they wanted to be open about their new identity, but weren't ready to speak at length about it. The singer came out as non-binary, joining a growing number of people who use “they/them” as pronouns.

Merriam-Webster Dictionary (Online)	<b>Singular they</b> a. used with a singular indefinite pronoun antecedent  例文 No one has to go if they don't want to. Everyone knew where they stood... — E. L. Doctorow  b. used with a singular antecedent to refer to an unknown of unspecified person  例文 An employee with a grievance can file a complaint if they need to. The person who answered the phone said they didn't know where she was.  c. used to refer to a single person whose gender is intentionally not revealed  例文 A student was found with a knife and a BB gun in their backpack Monday, district spokeswoman Renee Murphy confirmed. The student, whose name has not been released, will be disciplined according to district policies, Murphy said. They also face charges from outside law enforcement, she said.
	<b>Non-binary they</b> used to refer to a single person whose gender identity is nonbinary <sup>*10</sup>  例文 I knew certain things about ... the person I was interviewing... They had adopted their gender-neutral name a few years ago, when they began to consciously identify as nonbinary—that is, neither male nor female. They were in their late 20s, working as an event planner, applying to graduate school. — Amy Harmon
Oxford Learners Dictionary (Online)	<b>Singular they</b> used instead of <i>he</i> or <i>she</i> to refer to a person whose sex is not mentioned or not known  例文 If anyone arrives late they'll have to wait outside.
	<b>Non-binary they</b> People who are non-binary (= do not identify as either male or female) also often prefer to be referred to as they.  例文 Asher thought they were the only non-binary person at school.

表2が示すように、Singular *they* には、大きく分けて二種類の用法がある。一つ目は、代名詞を使って表す人物の性別が不明である、もしくは言及する必要がないことを理由に使う方法で、*he or she* や *he/she* といった書き方を回避するため、一語で *they* と表記する方法である。

Everyone should do what they think is best.  
(Cambridge University Press, n.d.)

皆それぞれが最良と思うことをすべきである。

上記の例文の場合、名詞節にある *they* は、主節の主語 *everyone* を受けて、単数形として表記され、次に続く一般動詞の *think* は文法上複数形の主語 *they* を受けて、*thinks* ではなく、*think* となっている。Singular *they* が普及する以前は、*they* の代わりに *he or she* や *he/she* または *s/he* の記載をする方法が一般的だった時期もある。しかし、冗長さを回避するために、単数形を表す *they* が使われるようになった。用法としては、意味上は単数形の *they* としながらも、文法上は述語動詞は複数形をとる。

二つ目は、代名詞を使って表す人物の性別を故意的に開示しないことを目的に使う方法である。表2の Merriam-Webster (n.d.) の例文 c. について、以下説明する。

A student was found with a knife and a BB gun in their backpack Monday, district spokeswoman Renee Murphy confirmed. The student, whose name has not been released, will be disciplined according to district policies, Murphy said. They also face charges from outside law enforcement, she said.  
(Merriam-Webster, Incorporated, n.d.)

地区の広報担当 Renee Murphy が確認したところによると、月曜日、ある生徒が、刃物と空気銃をその生徒自らの (their) バッグに所持していたことが判りました。その生徒の名前は公表されていません。その生徒は、地区の方針に従って指導される予定です。その生徒は (They) また、外部の法律によっても罪に問われることとなります。(下線は筆者による加筆。以下同様。)

“A student” の人称代名詞の所有格にあたる *thier* は、意味上では単数形である。三人称単数の人物に対して使用する人称代名詞所有格は *his*、または *her* も挙げられるが、ここではそれらをあえて使用せずに、*they* の所有格 *their* を使用している。その理由は、当該学生の個人情報を、性別も含めて開示することを回避するためである。

一方、ノンバイナリーを表す三人称単数形の *they* は、自認する性が男性でも女性でもないと認識し、それを公にしている人々で、さらに、自らの人称代名詞として “*they*”, “*them*”, “*their*”, “*theirs*”, “*themselves*” (または “*themselves*”<sup>\*8</sup>) の使用を希望している人々を表す際に使用する。例えば、Cambridge Dictionary では、例文として、Sam Smith に関する記事を挙げている。

At that time Smith said that they wanted to be open about their new identity, but weren't ready to speak at length about it.  
(Merriam-Webster, Incorporated, n.d.)

その時、スミスは、自分は (they) 自分の (their) 新しいアイデンティティーについてオープンにしたいが、十分に話す準備はできていない、と語った。

最初の下線部 *they* は、Smith のことを指している人称代名詞の主格で、意味上は単数形である。続いて、二番目の下線部 *their* も、Smith の人称代名詞の所有格で、意味上は単数形である。一方、三番目の下線部、Be 動詞の *weren't* は *they* を受けて文法上は複数形で表記されている。前述の通り、単数形を表す *they* は、意味上は単数形であるが、文法上は複数形で表記される。

このように、単数形の主格 *they* を受ける述語動詞に関しては、文法上、複数形を使用するよう辞書では定めている。しかし、現状では、ノンバイナリーを表す三人称単数形の *they* を受ける述語動詞に単数形を使用するケースがインターネットを中心に散見される。これは、現在は、ノンバイナリーを表す三人称単数の *they* の用法が広まりつつある、過渡期にあるためだろう。用法が定着するのには時間がかかると思われる。

### 3. 英語教育の視点からの今後の可能性

まず、英語教員として私たちは、言語は変化し続け

るものであることを肝に銘じ、時代の流れと共に言語の変化を注視し、自己研鑽し続けることが重要である。正確な情報を適切な形で学習者に伝達・教育できるように準備する必要がある。また、時として、世界では大きな流れが起こっていても、日本にはその流れが届いていなかったり、タブー視されていたりする場合もある。バイナリーを表す三人称単数形の they については、新しい情報と見なされるだろう。2021年9月の時点で、その存在を知る日本人英語教員は少ないと感じる。また、新しい用法は敬遠されるかもしれない。

各教員は、時代の流れに合わせた言語の用法をアップデートしようと努めるはずだが、正確な情報を扱い、教員個人の得た情報の見方を偏らないようにするためには、一人の力には限界がある。従って、教員コミュニティを創り、複数の情報源と視点を持って学び合うことが重要だと思われる。日本ではまだ新しい情報や、タブー視される傾向のある話題を協働で取り扱うことにより、理解を一層深め、広い視野を持って当該の話題に向き合う自信を持つことができるだろう。

次に、授業の果たす役割は教員が意識している以上に大きい可能性がある。本校において、準備研究として行った初年次学生向けアンケートでは、180人の初年次の回答者のうち、英語の Preferred Gender Pronouns について SNS 上の He, Him や She, Her などの表示を見たことがある人が27人 (15.0%)、They, Them などの表示を見たことのある人が15人 (8.3%) で、情報に触れた機会は、テレビ・SNS・インターネット・高校や大学の授業やイベントなどから複数・多岐にわたり、その他「自分が当事者だから」という回答もあった。PGPs の存在を知る回答者のうち、6割以上に当たる、17人 (全体の9.4%) は高校や大学の授業やイベントを通して情報を知った、ということがわかった。実質的には、PGPs と三人称単数形の they について高校や大学の授業やイベントを通して知ったという回答者の殆どは筆者らが担当する英語の授業の中で新しい情報に触れたことがわかっている。このことから、英語の授業は学生たちにとって、知見を広げるきっかけ、グローバルな考え方を学ぶ第一歩となることがわかる。

ノンバイナリーを表す三人称単数形の they の指導方法としては、教員は、学生たちに対して、三人称単数の使用が拡大しているという事実を紹介することが第一歩となる。そして、学生たちに、言語は時代とともに変化するという気づきを与え、彼らがグローバル社会の一員として生きるための準備の機会を設けることから始めると良いだろう。

#### 4. 結び

本稿は、2010年代半ば以降に新しい用法として登場した、ノンバイナリーを表す三人称単数形の they について紹介した。男女の性別を明示しない三人称単数形の they の用法はこれまでもあったものの、自認するジェンダーの表明のための選択としての使用は新しい用法である。この使用の拡散については、辞書と SNS を例に示した通り、既に、特定のコミュニティ以外に一般的に世界規模で拡散しており、今後もさらなる拡大と定着が予想される。具体的な用法については、以前からある三人称単数形の they は、顔が見えない相手の性を確定しないか、意図的に確定しないための用法だったのに対して、ノンバイナリーを表す they は、既知の相手の自認の性を男女に限定しないための用法であることを示した。最後に、教員として正しく情報を掴み、学生たちにわかりやすく伝えることが第一歩となると述べた。教員としての自己研鑽には学びのコミュニティの構築も必須である。ただし、現時点では、外国語としての英語を学習する日本の英語学習環境下で、ノンバイナリーを表す三人称単数形の they の文法用法としての練習活動を提案するものではない。英語教育は、広い視野を持つ人材を育てる役割があり、洗練された言語の使用を示す機会を提供する場である。英語教員は、日本の内外で起こっている事柄に敏感に反応し、吸収していく機会を学習者に与える役割を担っている。

#### 註：

\* 1 ノンバイナリー (Non-binary) は、自らを男性・女性のどちらでもないと自認している人を表す言葉として90年代に使われ始めた。この他に、トランスジェンダー (Transgender、身体的な性別と自認する性別が一致していない) の人やシスジェンダー/シス (Cisgender/Cis、生まれ持った性別と心の性が一致しており、その性別に従って生きる) の人などが使われてノンバイナリーと区別されている。

\* 2 三人称単数形の they の用法は14世紀のチャオサーや16世紀末から17世紀初頭に活躍したシェークスピアの作品の中にも見られ、現代でも Everyone does their best. (皆それぞれの最善を尽くす。) のような用法で受け入れられて来た。

\* 3 Mx. は相手の性別を特定しない敬称である。通常はミックス [mɪks] やマックス [mʌks] のように発

音されるが、エムエックス [ɛm'ɛks] と発音されることもある。

\*4 ニュートラルリティは和訳する時「中立」や「中性」が一般的に使われているが、ジェンダーの非二分性について論じる場合、日本語が表現する中立や中性のうち、一般的な、「両極の間に位置する」というイメージとは異なり、「どちらにも傾かない、方向づけをもたない」という意味での中立・中性を表現するために、カタカナ表記を選択した。

\*5 スタイルブックとは英語による執筆のルールについて、フォントのサイズや種類からレイアウト、文法用法に至るまで詳細に記しているルールブックのことで、新聞社が使用している The Associated Press Stylebook や New York Times Manual of Style and Usage などである。また、主に論文執筆向けの社会科学の分野で執筆する際の標準的なフォーマットである The American Psychological Association (APA: 米国心理学会) の APA Reference Guide や人文系の分野で執筆する際に採用される Modern Language Association (MLA: 米国現代語学文学協会) の MLA Handbook などがある。

\*6 SNS は、Social Networking Service の略で、インターネット上で社会的な繋がりを構築できるサービスを指す。代表的な例は、Twitter、Facebook、Instagram である。

\*7 Preferred (Gender) Pronouns は、My pronouns, she/her/her” のような形で SNS 上でジェンダーを表明する方法として使用し始められ、自認の性を女性とも男性とも認識しない non-binary の人々が三人称単数の they を使用するようになった。本人が使用を希望するジェンダーを表す人称代名詞を“Preferred Gender Pronouns” (PGPs) と一般的には称しているが、心理・教育・社会科分野で広く使用されている American Psychological Association (APA) Style Guide は“identified pronouns” (認識された代名詞)、“self-identified pronouns” (自認の代名詞) または、“pronouns” (代名詞) の使用を推奨しており、2021年9月以降、アメリカの主要大学の一部ではこれに倣った表記変更が見られた。

\*8 2021年8月の時点では、Singular they の再帰代名詞は、themselves と themself 両方の使用が見られる。

\*9 ニュートラルとカタカナ表記を選択しているのは、\*4. と同様の理由からである。

\*10 nonbinary (ノンバイナリー) という言葉は、2021年9月現在では、多くの場合 non-binary と表記されているが、Merriam-Webster ではハイフンを外して、一語表記になっている。

付記：本稿は、小塚・小田・川守田の3名が共同で研究・執筆した。構想と草案執筆・全体推敲を小塚が担当。2. 3の推敲とレイアウトを小田が担当。3と参考文献管理を川守田が担当。

## 参考文献

- American Dialect Society. (2016, January 8). 2015 Word of the Year is singular “they.” <https://www.americandialect.org/2015-word-of-the-year-is-singular-they>
- American Psychological Association. (2019). *Publication manual of the American Psychological Association*. (7th ed.).
- American Psychological Association. (2009). *Publication manual of the American Psychological Association*. (6th ed.).
- Baron, D. (2010, August 26). The gender-neutral pronoun: 150 years later, still an epic fail. *OUP blog*. <https://blog.oup.com/2010/08/gender-neutral-pronoun/>
- British Broadcasting Corporation. (2019, September 14). *Sam Smith changes pronouns to they/them*. BBC News. <https://www.bbc.com/news/entertainment-arts-49688123>
- Cambridge University Press. (n.d.). They. In *Cambridge Dictionary*. Retrieved August 1, 2021, from <https://dictionary.cambridge.org/ja/dictionary/english/they>
- Harris, K. [@KamalaHarris]. (n.d.). *Tweets* [Twitter profile]. Twitter. Retrieved July 10, 2021, from <https://twitter.com/KamalaHarris>
- Levitz, E. (2015, November 30). The New York Times Throws Gender-Neutral Honorifics Into the ‘Mx’. *New York Magazine*. <https://nymag.com/intelligencer/2015/11/new-york-times-throws-mx-into-the-mix.html>
- Merriam-Webster, Incorporated. (n.d.). They. In *Merriam-Webster*. Retrieved August 20, 2021, from <https://>

- [www.merriam-webster.com/dictionary/they](http://www.merriam-webster.com/dictionary/they)  
Oxford University Press. (n.d.). They. In *Oxford Learner's Dictionary*. Retrieved August 25, 2021, from <https://www.oxfordlearnersdictionaries>
- Sakurai, S. (n.d.). How Do I Use Personal Pronouns? MyPronouns.org. Retrieved August 20, 2021, from <https://www.mypronouns.org/how>
- Smith, S. [@samsmith]. (n.d.). *Tweets* [Twitter profile]. Twitter. Retrieved July 10, 2021, from <https://twitter.com/samsmith>
- The Washington Post (2017, March 28). *The singular, gender-neutral 'they' added to the Associated Press Stylebook*. <https://www.washingtonpost.com/news/morning-mix/wp/2017/03/28/the-singular-gender-neutral-they-added-to-the-associated-press-stylebook/>
- Watanuki, Y., Miyagawa, Y., Sugai, T., Takamatsu, N., & Peterson, M. (2000). *Royal English Grammar: with Complete Examples of Usage*. Obunsha.